



# インフルの季節到来！ 予防はしっかりと！

令和4年12月14日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和4年第49週分・12月5日～11日)

### 《インフォメーション》

#### ●インフルエンザ

全国の2020/21シーズン、2021/22シーズンのインフルエンザは、冬期の流行期において患者報告数の増加を認めませんでした。これに対し、全国の今シーズンの定点報告数は48週時点で0.13であり、増加傾向が続いています(右上図)。

県のシーズンあたりの定点医療機関からの報告数は2018/19シーズンには12,073例、2019/20シーズンには9,016例であったのが、2020/21シーズンには10例、2021/22シーズンには2例と激減していました。一方、今週、県では富山市保健所管内から新たに28例が報告されました。その結果、県内の定点当たりの報告数は0.58人となり、先週(0.00)より急増しました(右下図)。また、12月に入り、富山市の2施設で学級閉鎖の措置がとられています。今後、全国の傾向と同様、県内でも感染者数の増加が継続し、インフルエンザが再流行することが懸念されます。

今年の9月5日から12月4日までに全国の地方衛生研究所から報告されたインフルエンザウイルスの系統は全てAH3(14例)となっています。

インフルエンザを予防する有効な方法として流行前のワクチン接種が推奨されます。65歳以上の方や60～64歳で心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能に一定の障害がある方などは定期接種の対象(B類疾病)となっています。しかし、定期接種の対象ではない方もワクチン接種を受けることができます。現行のワクチンは発症予防や重症化予防に一定の効果があるとされています。高齢者や持病のある方では肺炎合併のリスクがあります。小児ではまれに脳炎・脳症を発症します。重症化予防対策として、流行前のインフルエンザワクチン接種が有用です。ワクチンの効果が現れるまで2週間程度かかるため、早期のワクチン接種を心がけましょう。

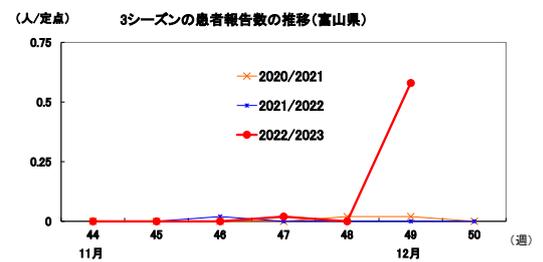
### 《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 8,836件(12/6(火)～12/12(月)公表分)
- 二類感染症 結核 1件(60歳代、男性)
- 四類感染症 レジオネラ症 2件(①第48週診断分：90歳代、女性、肺炎型  
②60歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件(第48週診断分：10歳未満、女性)  
急性脳炎 1件(第48週診断分：10歳未満、男性)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位7疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	3.66(↓)	3.83
2位	RSウイルス感染症	1.34(↓)	1.45
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.66(↑)	0.45
4位	インフルエンザ	0.58(↑)	0.00
5位	水痘	0.24(↓)	0.31
6位	咽頭結膜熱	0.14(↑)	0.03
	手足口病	0.14(↓)	0.41

	2018/2019	2019/2020	2020/2021	2021/2022	2022/2023
40週	0.17	0.99	0	0	0.01
41週	0.13	0.9	0	0	0.02
42週	0.19	0.72	0	0	0.02
43週	0.19	0.8	0.01	0	0.03
44週	0.21	0.95	0.01	0	0.06
45週	0.35	1.03	0	0.01	0.08
46週	0.38	1.84	0	0	0.11
47週	0.52	3.11	0.01	0.01	0.11
48週	0.93	5.57	0.01	0.01	0.13



○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第49週 令和4年12月5日～令和4年12月11日）

分類	疾患	今週報告分（第49週）						累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			1			1	3	6	35	11	35	90
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							2	3	4	1	12	22
四類感染症	E型肝炎							1	1				2
	重症熱性血小板減少症候群									1			1
	つつが虫病							1	1			1	3
	レジオネラ症					1	1	5		11	5	18	39
五類感染症	アメーバ赤痢									2		3	5
	ウイルス性肝炎									3			3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									6	2	13	21
	急性脳炎									4		1	5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							3		5	1	11	20
	後天性免疫不全症候群									1		1	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1		4	5
	侵襲性肺炎球菌感染症									4		5	9
	水痘（入院例）							2	1			3	6
	梅毒							3		9	4	26	42
	播種性クリプトコックス症											3	3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症											1	1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ					28	28			3		28
						1.75	0.58						
RSウイルス感染症		1		21	7	10	39	48	89	495	96	488	1,216
		0.25		2.63	1.75	1.00	1.34						
咽頭結膜熱		1		1		2	4	71	39	158	12	121	401
		0.25		0.13		0.20	0.14						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				1		18	19	39	10	150	23	248	470
				0.13		1.80	0.66						
感染性胃腸炎		16	11	19	18	42	106	785	749	1,936	707	2,425	6,602
		4.00	3.67	2.38	4.50	4.20	3.66						
水痘				2		5	7	3	15	62	3	55	138
				0.25		0.50	0.24						
手足口病				3		1	4	81	212	621	92	510	1,516
				0.38		0.10	0.14						
伝染性紅斑								2	1	5	1	7	16
突発性発しん		1	1	1			3	29	31	137	36	113	346
		0.25	0.33	0.13			0.10						
ヘルパンギーナ				2			2	108	113	110	4	72	407
			0.25			0.07							
流行性耳下腺炎					1	1	2	1	6	4	3	16	
					0.10	0.03							
流行性角結膜炎							10	5	12			27	
細菌性髄膜炎										1	1	2	
無菌性髄膜炎											1	1	
マイコプラズマ肺炎									1	2	1	4	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										1		1	
インフルエンザによる入院患者（※1）					1	1	2				2	1	3

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じる場合があります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。

分類	疾患	12月6日（火）～12月12日（月）公表分							累積報告数（9月27日～）医療機関の所在地ベース						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他	計
新型コロナウイルス感染症	※2	950	598	2,281	1,114	3,225	668※3	8,836	6,375	3,149	14,215	6,814	18,792	3,500※3	52,845
		※2 県報道発表資料の公表日に基づく集計 ※3 陽性者登録センター分							累積報告数（令和4年1月3日～9月26日）感染者居住地ベース						
		※4 県外、居住地非公表分							11,056	9,713	36,512	13,093	51,566	390※4	122,330

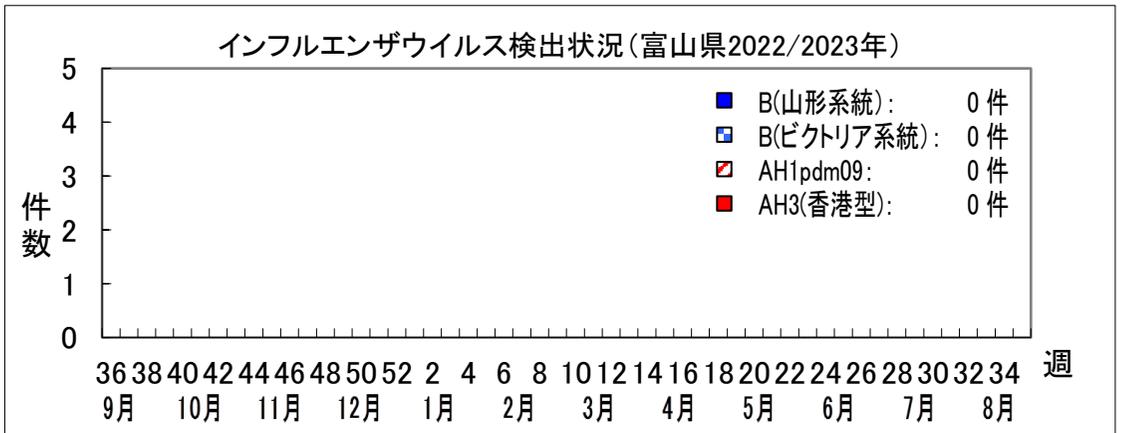
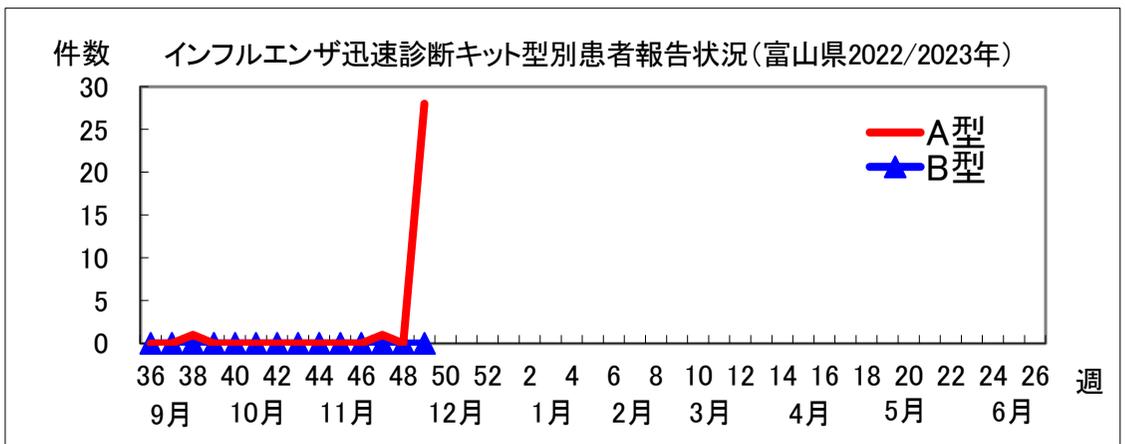
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

### 第49週(12/5～12/11)：富山県 0.58人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	0 / 7	0	0	0	0
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	0 / 13	0	0	0	0
砺波	0 / 7	0	0	0	0
富山市	6 / 16	28	0	0	28
富山県	6 / 48 <sup>※1</sup>	28	0	0	28
富山県累計(2022年36週～)		30	0	0	30

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が6か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



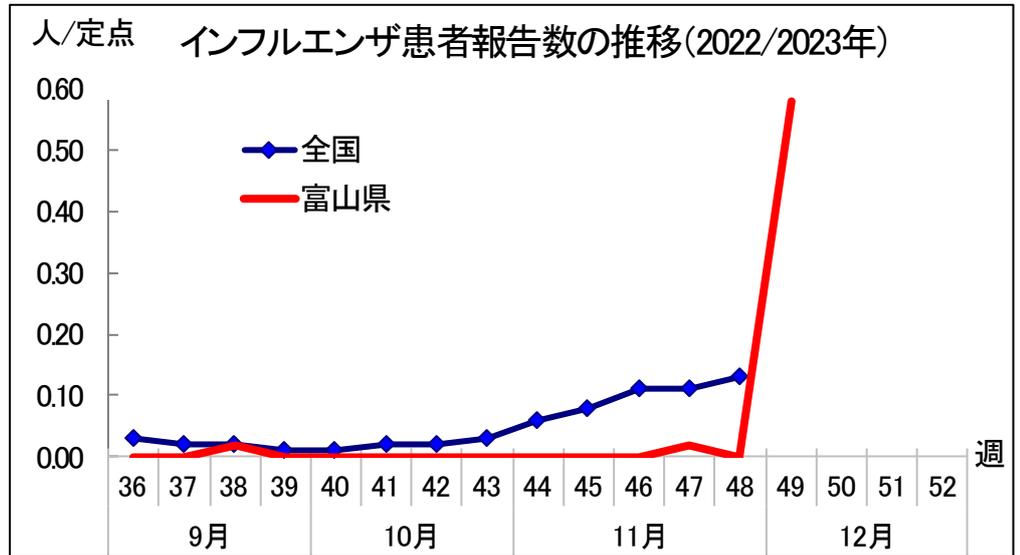


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 49 週 (12/5~12/11) : 富山県 0.58 人/定点

新川 HC (0.00)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (0.00)、砺波 HC (0.00)、富山市 HC (1.75)

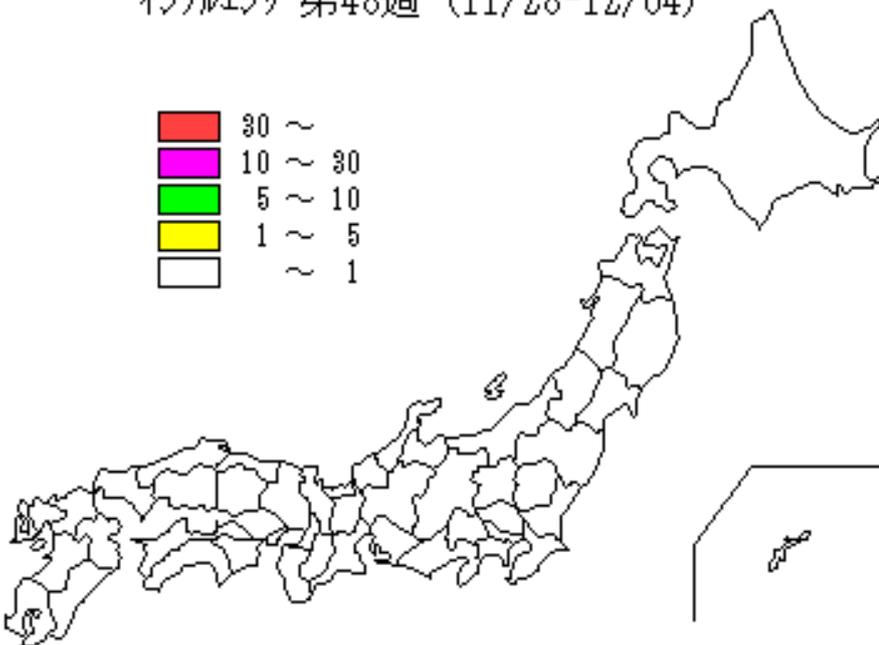
今シーズンの 48 週までの報告数は 0.03 以下で推移していましたが、49 週には 0.58 に増加しました。今週の県内定点医療機関からの報告は富山市保健所管内からがすべてを占めました。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 48 週 (11/28~12/4)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.13 人となり、前週の 0.11 人より増加しました。19 都県で前週より増加しています。18 道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第48週 (11/28-12/04)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.02	滋賀県	0.17
青森県	0.02	京都府	0.49
岩手県	0.40	大阪府	0.37
宮城県	0.13	兵庫県	0.14
秋田県	0.04	奈良県	0.00
山形県	0.00	和歌山県	0.08
福島県	0.04	鳥取県	0.00
茨城県	0.03	島根県	0.00
栃木県	0.05	岡山県	0.11
群馬県	0.10	広島県	0.03
埼玉県	0.06	山口県	0.03
千葉県	0.09	徳島県	0.00
東京都	0.26	香川県	0.04
神奈川県	0.20	愛媛県	0.31
新潟県	0.01	高知県	0.02
富山県	0.00	福岡県	0.10
石川県	0.00	佐賀県	0.03
福井県	0.00	長崎県	0.04
山梨県	0.02	熊本県	0.33
長野県	0.07	大分県	0.03
岐阜県	0.00	宮崎県	0.05
静岡県	0.13	鹿児島県	0.03
愛知県	0.07	沖縄県	0.11
三重県	0.14	全国	0.13

○感染症発生動向調査報告状況（令和4年11月分）

		11月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症					8	8		2	20		79	101
						2.00	0.80						
	性器ヘルペスウイルス感染症				2	6	8		3	5	5	53	66
					2.00	1.50	0.80						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	尖圭コンジローマ				1		1			2	11	9	22
					1.00		0.10						
	淋菌感染症					2	2		1	1		21	23
						0.50	0.20						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	3	1	2	7	15	19	13	27	25	110	194
		2.00	3.00	1.00	2.00	7.00	3.00						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1				1	2	5		2		6	13
		1.00				1.00	0.40						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。